安全データシート

作成日　2008年09月05日
改訂日　2014年01月30日

製 品 名：Nickel boride for synthesis

１．化学品及び会社情報

製品番号　：843836
製　品　名　：Nickel boride for synthesis
製品和名　：ホウ化ニッケル 合成用
会　社　名　：メルク株式会社
住　所　：東京都目黒区下目黒1－8－1　アルコタワー
製品取扱部門　：メルクミリポア事業本部
MSDS発行部門　：EQJ部 EHSグループ
電話番号　：03-5434-5267
ＦＡＸ番号　：03-5434-5391
製　造　元　：Merck KGaA

２．危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

皮膚感作性　：　区分1
発がん性　：　区分1A
特定標的臓器毒性（反復暴露）　：　区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性（急性）　：　区分1
水生環境有害性（慢性）　：　区分1

シンボル

注意喚起語　　危険

危険有害性情報

H317　アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H350　発がんのおそれ
H372　長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害
H400　水生生物に非常に強い毒性
H410　長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

P201　使用前に取扱説明書を入手すること。
P273　環境への放出は避けること。
P280　保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P302+P352　皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
P314　気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

３．組成及び成分情報

単一物・混合物の区別　：　単一物

化学名又は一般名	含有率	化学式	官報公示整理番号（化審法）	官報公示整理番号（安衛法）	ＣＡＳ番号	ＥＣ番号
ホウ化ニッケル	98%	BNi_2	(1)-54	公表	12007-01-1	234-494-6

４．応急措置

吸入した場合：
被害者を直ちに暴露した場所から空気の新鮮な場所に移動させる。
直ちに医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合：
多量の水で洗い流す。
汚染された衣服は直ちに脱ぎ捨てる。
直ちに医師の診察を受ける。

眼に入った場合：
多量の水で瞼を開けたまま、よく洗浄する。
眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合：
直ちに水(最大コップ2杯)を飲ませる。
直ちに医師の診察を受ける。

５．火災時の措置

消火剤：
周辺の貯蔵品に適用される消火剤

特有の危険有害性：
不燃性
火災時に有害な蒸気を発生する。

消火を行う者の保護：
適切な保護具を着用し、安全な場所から消火活動を行う。

その他：
消火の為の放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な措置を行う。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項：
粉塵を吸い込まないように注意する。
粉塵を巻き上げないように注意する。
適切に換気すること。
作業の際には保護具を着用すること。

環境に対する注意事項：
下水施設に流してはならない。

回収・中和等：
適切な廃棄処理を行う。
漏出箇所はきれいに清掃する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い：
密閉化した設備または局所排気を用いる。
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに粉塵を発生させない。
吸い込んだり眼や皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具（保護眼鏡・保護手袋・保護長靴等）を着用し、出来るだけ風上から作業する。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等、粗暴な取扱をしない。

保管：
容器は気密性を保つ。
乾燥状態で保管する。
常温(15～25℃)で保管する。

８．ばく露防止及び保護措置

ばく露防止措置：
設備対策：
取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼、身体洗浄を行う設備を設置する。

衛生対策：
眼、皮膚および衣服に触れないようにする。
作業終了後は手洗い、洗顔を充分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える。
皮膚保護の為スキンクリームを使用する。

保護具：
呼吸用保護具：
粉塵発生の場合は、呼吸保護具を使用する。

その他：
適切な保護服・保護手袋・保護眼鏡等を着用する。

９．物理的及び化学的性質

形　　状	：	粉末
色	：	灰色
臭　　い	：	無臭
密　　度	：	データなし
蒸 気 圧	：	データなし
沸　　点	：	データなし
引 火 点	：	データなし
自然発火点	：	データなし
爆 発 限 界	：	下限　データなし 上限　データなし
溶 解 性	：	データなし

１０．安定性及び反応性

安定性：
常温では安定な物質である。

危険有害反応可能性：
激しく反応するおそれ:
塩基
激しく反応するおそれ:
強酸化剤

避けるべき条件：
湿気

１１．有害性情報

皮膚に付着、目に入った場合：
皮膚アレルギー反応のおそれがある。

遺伝毒性等：

吸入により、発がんのおそれがある。

その他の有害性：
毒性に関する量的なデータはない。
ホウ素化合物は一般に、再吸収により、吐き気、嘔吐、不安、痙攣、中枢神経障害、心臓血管障害をおこす。
ニッケル化合物は一般に、粘膜収斂のおそれがあり、人によってはアレルギー反応を示す。場合によっては
ニッケル皮膚炎をおこす。
この他の有害性を否定することはできないが、それらを予測評価するための充分な知見はない。

１２．環境影響情報

データはないが、自然水、下水、土壌中への流出を避ける。

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物：
関連法規及び市区町村条例等に従い、産業廃棄物として廃棄すること。

容器包装：
空容器には残余物がないようにし、関連法規及び市区町村条例等に従って適切に廃棄すること。

１４．輸送上の注意

国連番号　：3077
品名　　　：ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.
クラス　　：9/III

安全対策：
運送に際して漏れのないことを確かめ、直射日光を避け、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの
防止を確実に行う。

１５．適用法令

ホウ化ニッケル
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)：特定第1種指定化学物質　　政令番号：309
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)：第1種指定化学物質　　政令番号：405
労働安全衛生法第57条の2：通知対象物質
労働安全衛生法第57条：表示対象物質
労働安全衛生法特化則：第2類物質

１６．その他の情報